

医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業
戦略的国際共同研究プログラム(SICORP)
日本・スペイン共同研究 事後評価結果

研究開発課題名	新生ニューロンのナノ足場の開発による脳の再生促進
研究開発代表者	金子 奈穂子
代表機関	名古屋市立大学

○評価委員会コメント

再生能力の低い成体脳の脳深部の障害に適用可能な、新生ニューロンの移動を促進する足場、Ncad-mRADAの開発、足場による新生ニューロンの移動及びそれによる機能回復を明らかにしており、研究開発計画は十分に達成された。また、Ncad-mRADAは注入部位を変えることで、新生ニューロンの移動をある程度コントロールできることを示唆した。本研究による成果は、特許の出願やPCTの出願もなされており、共著論文を出していることは大いに評価できる。

今後は、新生仔よりも成体での結果に期待したい。足場材については、より肉厚な研究が求められる。統計学的な有意差についての観測に改善が必要と思われる。また、今回開発されたバイオマテリアルの改変体のバリエーションは多くあると思われ、今後も新しいマテリアルの開発が望まれる。